

教育あきた 7月号

2026 No.763

第50回全国高等学校総合文化祭 あきた総文2026
生徒実行委員会



主な内容

HOT VOICE	秋田県教育委員会教育長 安田浩幸……………	P 2
特 集	あきた総文2026……………	P 3
TOPICS	青少年交流センター（ユースパル）の利用について……………	P 7
事業紹介	生徒指導総合支援事業……………	P 8
S P O T	各企画展のご紹介……………	P 10
お知らせ	……………	P 11

「あきた総文2026」の成功を祈って

秋田県教育委員会教育長 **やす だ 安田** **ひろ ゆき 浩幸**



「第50回全国高等学校総合文化祭（あきた総文2026）」の開幕がいよいよ間近に迫ってきた。本県で開催される高校生の全国的なビッグイベントは、平成29年の「第27回全国産業教育フェア」以来だけに、期待とともに緊張感も高まりつつある。

思い返してみると、全国高等学校総合文化祭の開催地に本県が立候補するという報告を受けたのは私が現職に就任した令和2年のことである。コロナ禍の真っ最中であり、その年の高知県での全国高総文祭の総合開会式はライブ中継で行われた。夏に開催予定だった東京オリンピックは翌年に延期され、社会全体が人の集まる話題などをする雰囲気ではなかった。そのためか6年後に本県で全国高総文祭を開催すると聞いても、全く現実味のない出来事のように感じたことを覚えている。

前回、本県で開催した昭和56年といえ、私が高校を卒業した2年後で、全国高総文祭があったことは当然のことながら覚えていない。ただ、当時の生徒実行委員長と副委員長が県内に在住していて、今回の現役の実行委員長、副委員長と対談を行ったということである。全国高総文祭はその都道府県の高校生が自分たちで創り上げていく部分が多いので、世代をこえて共通の話題や思いがあるのだろう。なお、生徒実行委員会が組織されたのは、前回本県で開催した第5回大会が最初だったということなので、前述の実行委員長・副委員長は初代ということになる。高校生の芸術文化の祭典である全国高総文祭の企画や運営を、高校生たちが自らの手で行うという流れが本県から始まったことは誇らしいことであり、これまで途切れることなく続き、45年の時を経てまた秋田県に巡ってきたことは大変感慨深いものがある。

さて、文化庁から正式に秋田県開催の内定通知があったのは令和3年5月のことである。先

催県の取組を参考にした準備が始まり、私自身も令和4年の東京都、令和5年の鹿児島県、そして昨年の香川県の大会に赴き、総合開会式とパレード、さらに幾つかの部門の展示を視察させていただいた。その度に強く感じたことは、令和8年の本番は「秋田らしい全国高総文祭にしたい」という思いだった。

東京国際フォーラムの巨大ホールで行われた東京都の総合開会式では、高校生たちが劇団顔負けのミュージカルを披露してくれた。コンサートもできるような大きなアリーナで行われた鹿児島県と香川県の総合開会式は、会場全体が一体感を共有できる演出で、演劇や演奏などバラエティに富んだ発表を見せてくれた。パレードも、東京はビル群に囲まれた丸の内仲通り、鹿児島は博物館前から御楼門までの歴史や文化の香り漂うコース、そして香川は高松港のすぐ脇の水城通りを行進した。舞台で高校生たちが見せるパフォーマンスも、部門の会場で係の生徒たちがもてなしてくれる言葉や表情も、何もかもがその都県らしさに溢れていた。

いよいよ秋田県の番である。生徒実行委員のみんなが企画した発表が、ミルハスの素晴らしい舞台上で「秋田らしさ」にあふれ、感動を与えてくれるであろうと期待している。また、大手門の堀のハスの花を見ながら進む広小路のパレードも、他とは違った「秋田らしさ」が感じられ、忘れられない思い出になるに違いない。訪れる方々にとって、総合開会式やパレード、各部門の発表・展示の記憶は、街の印象や人々との交流、そして土地に息づいている生活や風土などと相まって、その人の心に残るのだと思う。部門が開催される市はもちろん、秋田の地を初めて訪れる人も多いことだろう。全国の高校生や関係者の皆さんから「秋田らしい『あきた総文2026』だった」と言ってもらえるような大会になることを祈っている。



第50回全国高等学校総合文化祭

あきた総文2026

いよいよ今月26日、秋田県を舞台に「第50回全国高等学校総合文化祭（あきた総文2026）」が開幕します。

全国の高校生が日頃の芸術文化活動の成果を発表する、まさに「文化部のインターハイ」。秋田県での開催は1981年の第5回大会以来、実に45年ぶりとなります。半世紀という大きな節目の大会に、全国から約2万人の高校生が集結します。



プレ大会総合開会式（昨年10月）

輝く稲穂に廻らす想い おがれ若人 美の国秋田に今集え

本大会のテーマ「輝く稲穂に廻らす想い おがれ若人 美の国秋田に今集え」は、県内の中高生から寄せられた約2千点もの応募の中から選ばれました。秋田の美しい原風景である黄金色の稲穂と、若者たちの無限の成長を願う力強いメッセージが込められています。

キーワードは、「燈す・おがる・めぐる」。黄金色の夏、秋田から始まる青春の鼓動を、ぜひ皆様も肌で感じてください。

【スタートを飾る「総合開会式」】

7月26日（日）、あきた芸術劇場ミルハスにて総合開会式が行われます。厳粛な雰囲気の中で行われる「式典」、海外や次年度開催県である石川県の生徒実行委員とともに繰り広げる「交歓会」、そして秋田らしさ満載のステージである「開催地発表」の3部構成です。生徒実行委員会が創り上げる、光と音のこだわりの演出、壮大なフィナーレにぜひご注目ください。



【熱気あふれる「パレード」】

総合開会式終了後、秋田市のメインストリート「広小路」にてパレードを開催します。千秋公園大手門の堀に咲くハスの花を背景に、全国から集った高校生たちが、マーチングバンドの力強い演奏や、バトントワリングの華麗なパフォーマンスを披露します。夏の夕暮れ、広小路が若人たちのエネルギーで熱く染まります！



【海外に広がる芸術の絆「国際交流事業」】

今大会ではオーストラリア連邦、タイ王国、大韓民国の3か国から高校生をお迎えします。訪日団は7月21日（火）に秋田入りし、県庁への表敬訪問、県内高校との交流会、4か国交流会等に参加し、総合開会式において各国の伝統芸能を披露します。言葉や文化の違いを越え、音楽や伝統文化の体験を通じて心を通わせる国際交流ならではの感動の瞬間が生まれます。

【高校生による、秋田らしい「おもてなし」】

大会の屋台骨を支える生徒実行委員会は、全国の仲間を笑顔で迎えるため、プロから接遇を学び「おもてなしマニュアル」を作成しました。また、生徒実行委員会が考案した「おもてなし弁当」は、県産食材をふんだんに使用しています。「私たちの笑顔が秋田の顔になる」という熱い思いで、皆様をお迎えする準備を整えています。

【秋田県全体がステージ！あなたの街で、本物の感動に出会う】

北は大館市から南は湯沢市まで、秋田県の8市が「文化部のインターハイ」の舞台になります。また、開催市以外でも、部門の参加生徒たちがフィールドワークとして多くの市町村を訪問します。

音楽、演劇、展示、競技など、バラエティ豊かな全22部門が各地域で開催されます。どの会場も、高校生たちの熱気と笑顔でいっぱいです。今年の夏はご家族やご友人と一緒に、あなたの街で開催される祭典へお出かけしてみませんか？

●音楽・パフォーマンス

	演劇部門 (7/30～8/1・ほくしか鹿鳴ホール) 全国約2300校から選ばれた12校が、個性あふれる舞台を秋田で創造します。キャストとスタッフの調和が光る、情熱的な総合芸術の魅力をご堪能ください。各ブロック選抜の生徒講評委員による公開講評ライブも必見です。
	合唱部門 (8/1・大仙市大曲市民会館) 全国から約1500人の合唱を愛する高校生が、花火のまち大仙市大曲に集結します。全国総文ならではの、あたたかい雰囲気の中で、力強く、みずみずしい高校生の歌声がホールいっぱいに響き渡ります。ぜひ私たちと一緒に会場でお楽しみください。
	吹奏楽部門 (7/31～8/1・あきた芸術劇場ミルハス) 吹奏楽を愛する全国の高校生が、一堂に会する祭典です。秋田の大地で音楽の火を燈し、交流し合い共に成長して新たな絆を育みます。若き演奏家たちが個性を活かし、技術だけでなく心を響かせ合う、感動の瞬間をぜひ一緒に。
	器楽・管弦楽部門 (7/28～29・あきた芸術劇場ミルハス) 多彩な楽器による演奏が見どころです。全国から集まった管弦楽をはじめ、ギターやマンドリン、ビッグバンド、ハンドベルなどの音色をお楽しみください。音楽を愛する皆さん、ぜひ私たちと一緒に大会を盛り上げましょう！
	日本音楽部門 (7/30～31・由利本荘市文化交流館カダール) 新国立劇場での東京公演出場を目指すコンクールです。各都道府県から推薦された団体が、箏や三絃、尺八などの和楽器を演奏します。日本の伝統を受け継いだ高校生が奏でる、多様で美しい調べをぜひ会場でお楽しみください。
	吟詠剣詩舞部門 (8/1・秋田エブソンゆざわホール) 詩文を独特な節で歌う「吟詠」、日本刀を用いて武士の精神を伝える「剣舞」、扇子で詩の情緒を表現する「詩舞」を総称した伝統芸能です。書道や茶華道との多彩なコラボも魅力。高校生の躍動感と伝統の奥深さをお楽しみください。
	郷土芸能部門 (7/28～30・秋田エブソンゆざわホール) 全国に伝わる「伝承芸能」と「和太鼓」の2部門によるコンクールです。上位各1校は新国立劇場での東京公演に推薦されます。郷土芸能への熱き想いと、若さあふれる渾身の演技・演奏は、皆様の心を感動で震わせるはずです。
	マーチングバンド・バトントワリング部門 (7/28・県立武道館) 迫力のフォーメーションと演奏が一体のマーチングバンド、華麗な演技で魅了するバトントワリング。音楽を立体的に描き出すチームの一体感とエネルギーに溢れた、夏の夜の竿燈のように煌めく個性豊かなパフォーマンスは必見です。

●芸術・展示

	美術・工芸部門 (7/27～31・県立近代美術館、IRISOアリーナ横手) 絵画・彫刻・デザイン・工芸・映像など、各都道府県推薦の約400点の作品を県立近代美術館に展示します。全国の若き感性と想いに触れる作品展をご覧ください。講評会や伝統工芸品の制作体験を通じ、生徒同士の交流も深めます。
	書道部門 (7/26～30・CNAアリーナ★あきた) 全国から選抜された約300点の書道作品が一堂に会します。息づかいが伝わる圧巻の作品たちをぜひご覧ください。県内書道部員による秋田を感じる企画展や、出品者による作品制作等の交流会も企画。心に残るひとときをお届けします。
	写真部門 (7/26～30・県立美術館、にぎわい交流館AU、アトリオン) 全国の高校生写真家が秋田に集い、作品制作を学びながら交流します。県立美術館とにぎわい交流館AUでは、全国の優秀作品約300点を展示。高校生らしい瑞々しい感性で捉えられた一瞬や、魅力的な作品の数々をお楽しみください。

●学術・文芸・競技

	放送部門 (7/29～30・大仙市大曲市民会館) 「オーディオメッセージ」「ビデオメッセージ」「アナウンス」「朗読」の4部門で郷土の話題やゆかりの作品を紹介。美しい言葉や音を追究する仲間が大曲に集います。考え抜かれた映像・録音構成や研ぎ澄まされた音声表現は必聴です。
	囲碁部門 (7/28～29・由利本荘総合防災公園ナイスアリーナ) 都道府県団体戦と男女別個人戦の3種目で開催。各都道府県を代表する高校生棋士たちが鳥海山の麓、由利本荘市で2日間の熱戦を繰り広げます。盤上の無限の可能性から信じる一手を刻み、持てる棋力の全てをぶつけ合う雄姿をご覧ください。
	将棋部門 (7/31～8/1・由利本荘総合防災公園ナイスアリーナ) 都道府県代表の高校生が日本一を目指し、男女別の個人戦・団体戦の4種目で対局します。静まりかえった会場で繰り広げられる熱く激しい戦いは必見です。プロ棋士による大盤解説や指導対局などのイベントで将棋の魅力を体感してください。
	弁論部門 (7/29～31・能代市文化会館) 自らの意見や主張を訴えかける7分間のスピーチ競技です。独自の視点で論を展開し、言葉の力で相手を動かす技術や論理的思考力、表現力が問われます。互いに学び合い成長する次世代の若者たちが繰り広げる、熱意と知性の世界観を感じてください。
	小倉百人一首かるた部門 (7/28～30・タクミアリーナ) 各都道府県選抜チームが2日間にわたり日本一を競います。上の句が読まれた瞬間に一斉に札を取る姿は圧巻。「畳の上の格闘技」と呼ばれる競技かるたは、心技体を鍛える個人競技と協力し合う団体競技の魅力があります。優秀読手の美声にも注目です。
	新聞部門 (7/28～30・潟上市市民センター かたりあん・天王館) 各都道府県の新聞部代表が潟上市に集い、取材して交流新聞を作成します。秋田の農業や自然、伝統行事などを個性的な切り口で記事にします。年間紙面審査入賞校の表彰や参加校の活動ポスター展示など、高校生の努力の結晶をご覧ください。
	文芸部門 (7/28～8/1・アトリオン) 「文芸部誌」「散文」「詩」「短歌」「俳句」の5部門で、各都道府県代表がお互いの作品や創作活動について意見交換し研鑽を積みみます。文学研修や公開句会「なまはげマッハ」も計画。若き文士たちが「詩の国」秋田に集うのを心待ちにしています。
	自然科学部門 (7/29～31・県生涯学習センター、県児童会館、秋田県J Aビル、さがけホール) 身近な自然現象や環境問題、地域特有の災害や生物の研究など、全国の高校生の多様な研究成果を発表します。白熱した質疑応答も見どころ。魅力ある施設や自然を巡る巡検研修、大学教員の記念講演など、全力でおもてなしします。

●秋田県独自（協賛部門）

	茶華道部門 (7/28～29・秋田市文化創造館) はるばる秋田へお越しいただいた皆様に、ほっとくつろげるひとときを提供します。秋田ならではの菓子とともに、おいしいお茶をお楽しみください。同じ会場で情報部門の発表も行われていますので、前後の時間帯にぜひお立ち寄りください。
	情報部門 (7/28～29・秋田市文化創造館) プログラム体験、eスポーツ、VRシミュレーションなどの体験コーナーをはじめ、マイクロビットコンテスト受賞作やデジタル探究活動の展示を行います。コンピュータの面白さや情報技術の魅力を、高校生の活動を通じて多くの方に伝えます。
	特別支援学校部門 (7/31～8/1・秋田市文化創造館) 県内の特別支援学校15校が、ステージ発表、美術・写真展示、作業学習製品販売など日頃の学習成果を披露します。生徒自身が企画・準備に携わり、楽しいおもてなしを考えています。各校の特色を生かした、あたたかい雰囲気の会場へぜひお越しください。

各部門の会場への入場は無料ですが、事前申込が必要な部門や、入場制限がある場合があります。詳細は、大会公式ウェブサイトでご確認ください。

高校生たちが情熱を注いだ部活動の集大成となる晴れ舞台です。皆様の温かい拍手と声援が、生徒たちにとって何よりの励みになります。ぜひお近くの会場へお気軽にお越しいただき、全国トップレベルの表現に触れてみてください。



大会公式ウェブサイト

【交通規制のお知らせとご協力のお願い】

令和8年7月26日（日）パレードの開催に伴い、交通規制が行われます。交通規制の時間帯は、広小路沿いのバス停にバスは停車しません。秋田駅もしくは他路線（千秋公園入口、木内前、二丁目橋以外）のバス停からご乗車ください。また、秋田空港リムジンバスをご利用される方は「木内前」「北都銀行前」のバス停はご利用できませんのでご注意ください。

全国から集まった約1400人の高校生が広小路を舞台に華やかなパレードを繰り広げます。マーチングバンドの躍動感あふれる演奏や、バトントワリングの華麗な演技など、高校生たちの情熱あふれるパフォーマンスをぜひ沿道からご覧いただき、温かいご声援をお願いいたします。全国の高校生が最高のパフォーマンスを発揮できるよう、県民の皆様の温かいサポートをお願いいたします。



【最新情報はウェブでチェック！】

大会公式ウェブサイトやSNSでは、各部門の見どころや、生徒実行委員会の準備の裏側を日々発信しています。特に、Instagramのリール動画は大好評！ぜひフォローして、高校生たちの挑戦を応援してください。

【お問合せ】

第50回全国高等学校総合文化祭秋田県実行委員会事務局
（県教育庁高校教育課全国高等学校総合文化祭推進室内）
所在地：〒010-0951 秋田市山王四丁目1番2号
電話：018-860-1433
E-mail：kousoubun2026@pref.akita.lg.jp

あきた総文2026の最新情報や、生徒実行委員会の活動は、こちらをチェック。



大会公式ウェブサイト

生徒指導総合支援事業

子どもたちが安心して学校生活を送り、自分らしく健やかに成長していくこと。それは私たち県民すべての願いです。しかし、成長の過程では、時に言葉にできない不安や、一人では抱えきれない悩みに直面することもあります。本県では、子どもたちの小さな悩みや不安に専門的な視点から寄り添い、適切な支援ができるよう、地域や学校の実情に応じてスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等を配置するとともに、電話を活用して相談に対応するなどの「生徒指導総合支援事業」を実施しています。

中学校スクールカウンセラー配置事業

- ・心理の専門家であるスクールカウンセラーを配置し、不登校やいじめ問題等の相談に乗ることで、学校における教育相談体制の充実を図ります。



お子さんの様子で気になることや、「どう接したらいいかわからない」と悩むことはありませんか？スクールカウンセラーは子どもたちだけでなく、保護者の皆さまの相談相手でもあります。ご自身の不安を吐き出す場として、どうぞお気軽にご利用ください。

(スクールカウンセラーより)

広域カウンセラー配置事業

- ・公立小学校等の教育相談等に対応するために、北・中央・南の3教育事務所にエリアカウンセラーを配置し、学校における教育相談体制の充実を図ります。

電話相談事業

- ・県内4か所にフリーダイヤルの相談電話を設置し、児童生徒及び保護者等の相談に応じて、抱えている不安や悩み等の解消を図ります。

スクールソーシャルワーカー活用事業

- ・県内8か所にスクールソーシャルワーカーを配置し、様々な困難を抱える児童生徒や保護者等への相談に応じたり、福祉関係機関等と連携して必要な支援につなげたりします。

◆申込みは、「美の国あきたネット」に掲載している「スクールソーシャルワーカー活用リーフレット」をご覧ください。



「こんな小さな相談でもいいのかな？」とためらう必要はありません。お子さんが安心して生活を送ることができるよう、ご家族や学校、地域の支援機関とチームになってサポート体制を整えます。一人で抱え込まず、まずはご相談ください。(スクールソーシャルワーカーより)

校内教育支援センター支援員配置事業

- ・要望のあった市町村教育委員会に支援員を配置し、教室に入りづらさを感じている児童生徒等に対して、教員と連携した学習指導やスクールカウンセラー等の専門スタッフと連携した相談活動を行うことで、生活や学びを保障します。

子どもの悩みに関する主な電話相談窓口

子どもや保護者の方が抱える悩みや心配事について相談できる窓口はたくさんあります。
いじめや不登校などの悩みは独りで抱え込まず、まずは電話してください。

窓口の名前	相談の内容	受付時間	電話番号	担当機関名
24時間子供 SOSダイヤル	いじめ問題等に悩む子ども や保護者等の相談	365日 24時間	0120-0-78310	県教育委員会
いじめ緊急 ホットライン (すこやか電話)	いじめ問題等に悩む子ども や保護者等の相談	月曜～金曜 8:30～17:00 ※祝日を除く	0120-377-914 0120-377-904 0120-377-943	北教育事務所 中央教育事務所 南教育事務所
すこやか電話	悩みや不安を抱えている子 どもや保護者等の相談	月曜～金曜 8:30～17:00 ※祝日を除く	0120-377-804	総合教育センター
やまびこ電話	子どもからの相談、家族や 地域住民等からの少年の非 行等に関する相談	月曜～金曜 8:30～17:15 は専門職員 が担当（夜間休日は当直 員が対応）	018-824-1212	県警察本部
子ども家庭 相談電話	18歳未満の子どもに関す る様々な相談	365日 24時間	0120-42-4152	子ども・女性・障害 者相談センター (中央児童相談所)
児童相談所 電話相談	育児や子育てなどの悩みを もっている人の相談	月曜～金曜 8:30～17:15	0186-52-3956 018-827-5200 0182-32-0500	北児童相談所 子ども・女性・障害 者相談センター (中央児童相談所) 南児童相談所
こころの電話相談	生活の中で生じる様々なこ ころの悩みに関する相談	月曜～金曜 9:00～16:00 土・日・祝日 10:00～16:00 ※ただし次の期間を除く 12月29日～1月3日	018-831-3939	子ども・女性・障害 者相談センター (精神保健福祉 センター)
こどもの人権 110番	いじめ、虐待など子どもを めぐる人権問題に関する相 談	平日 8:30～17:15	0120-007-110	秋田地方検察庁
秋田いのちの電話	こころの危機を抱え、いろ いろな悩みをもっている人 の相談	毎日 12:00～20:30 ※ただし次の期間を除く 12月29日～1月3日	018-865-4343	いのちの電話事務局
秋田県教育協会 電話相談 ※学校を退職した 元教員や心理の 専門家等が相談 員	子どもへの対応で、いろい ろな悩みをもっている保護 者等の相談	火曜・木曜 11:00～14:00 ※ただし次の期間を除く 土・日・祝日 8月10日～8月16日 12月26日～1月3日	018-827-4453	秋田県教育協会

誰にも話せない、誰にも相談できない。そんなときは電話してみませんか。

5階

特別展 隙あらば猫

町田尚子絵本原画展

画家・絵本作家の町田尚子は、大胆な構図と繊細なタッチで、怖さとユーモア、美しさと不思議さをあわせもつ世界を表現してきました。町田の座右の銘は「隙あらば猫」。童話や昔話、怪談絵本など、さまざまな物語の中に、猫たちは時に主人公として、また時に名脇役として“隙あらば”登場するのです。毛並みから仕草、表情まで緻密に描き出された猫たちからは、町田の鋭い観察眼や、猫たちを慈しむ眼差しが感じられます。

本展では、デビュー作から最新作までの絵本原画や絵画、制作資料など約300点を紹介します。また、本展のために制作した秋田を題材にした新たな作品も展示します。



会 期：8月8日(土)～10月4日(日) ※会期中無休
9：30～17：00(最終入館16：30)
会 場：5階展示室
観 覧 料：一般1,000円(800円)、高・大学生800円(600円)
()内は20名以上の団体料金
中学生以下無料／小学生以下は要保護者同伴
※高・大学生は要学生証提示
※障がい者手帳またはミライロID提示の方は当日料金の半額
(介添1名半額)
主 催：隙あらば猫 町田尚子絵本原画展実行委員会
(秋田県立近代美術館・AAB秋田朝日放送)
企 画 協 力：青幻舎プロモーション

6階

秋田県立近代美術館コレクション展 第2期

『みる』をあじわう

『みる』という行為は、私たちが思っているよりもずっと豊かなことなのかもしれません。当館ではこれまで、様々な年齢の方や障がいのある方などと一緒に『みる』ことに取り組んできました。触覚を手がかりにした鑑賞や、多様な感性から生まれる言葉を重ねる中で、視覚だけに頼らない『みる』ことの深まりと広がり気づかされました。本展は、当館コレクションを「自分の身体でみる」「作家がみていたものをみる」「他者の視点でみる」という流れで『みる』ことの楽しさを味わう展覧会です。多様な視点や感性に触れることで、自分自身の感じ方もまた、世界を形づくる大切な一つなのだと気づかされる。そんな特別な体験をお楽しみください。



《樹下弾琴》金沢秀之助

会 期：8月14日(金)～11月1日(日) ※会期中無休
9：30～17：00(最終入館16：30)
会 場：6階展示室
観 覧 料：無料
関連イベント：・対話による鑑賞会
・視覚に障がいのある方のナビゲートによる鑑賞会
・さわって、みがいて、あじわって！
大理石のペーパーウェイトづくり
※詳しくはホームページでご確認ください。

問い合わせ 秋田県立近代美術館(横手市)
Tel 0182-33-8855

生誕160年 俳人安藤和風展



秋田市出身の文化人・安藤和風は、今年生誕160年を迎えました。和風は、秋田魁新報社の社長をはじめ、詩人、ジャーナリスト、俳人、文学研究者、郷土史家、政治家など、多様な活躍をした人物です。本展では、特に短詩型文学作家としての側面に光を当て、俳人和風の足跡をたどりま

会 期：令和8年6月4日（木）～8月30日（日）
開館時間：10：00～16：00
休 館 日：毎週月曜日および8月10日（月）～12日（水）は休館
会 場：あきた文学資料館（秋田市）
電 話：018-884-7760
観 覧 料：無料

担当者より：難読ながらも味がある、和風の書いた文字の解説に、是非チャレンジしてみてください！



お知らせ

information

県内の教育施設等で開催される
主なイベントなどを紹介します。
※詳しくは各施設にお問い合わせください。

☆ 大館少年自然の家 ☆

TEL 0186-43-3174

第42回オカリナ音楽祭～秋～

芸術の秋、オカリナ等の音色を楽しみませんか。宮城野萩が咲く大館少年自然の家で、出演団体による合同演奏も予定しています。

開催日時：令和8年9月19日（土）
観 覧 料：無料

☆ 図書館 ☆

TEL 018-866-8400

埋蔵文化財センターとの連携展示「秋田の貝塚」

柏子所貝塚、萱刈沢貝塚、菖蒲崎貝塚など、県内の数少ない貝塚から出土した貝輪や釣針といった、貴重な遺物を展示します。

開催日時：令和8年7月11日（土）～令和8年8月11日（火）
午前9時30分～午後5時
観 覧 料：無料



秋田県立博物館

〒010-0124 秋田県秋田市金足鳩崎字後山52

前売券／2026年5月22日(金) 10:00～販売開始

2026 7/11(土) - 8/30(日)

開館時間 9:30～16:30
<最終入場は16:00まで>

休館日 7/13・21・27 8/3・17・24
(月) (火) (月) (月) (月) (月)

主 編 わけあって絶滅しました。展秋田実行委員会(秋田県立博物館、AKT秋田テレビ)
特別協力 (一財)進化生物学研究所、東京農業大学
協 力 タイヤモンド社、東海大学自然史博物館、長崎バイオパーク、群馬県立自然史博物館、岡山県立自然史博物館、和歌山大学(徳島県)
監 修 動物学 中野忠明、図鑑制作 丸山真史
展 望 秋田市、秋田市教育委員会、秋田県新聞社、朝日新聞秋田版、毎日新聞秋田支局、読売新聞秋田支局、河北新報社、秋田経済新聞、NHK秋田放送局、ABS秋田放送、AAB秋田朝日放送、エフエム秋田、CNA秋田ケーブルテレビ

入場料
(税込)

一般・大学生
1,200円(1,000円)

小学・中学・高校生
800円(600円)

前売券
販売先

- 秋田県立博物館ミュージアムショップ
- TSUTAYAに井田店 広田店
- 未来屋書店 秋田店
- まきかけニュースカフェ
- 秋田県庁地下売店
- ローチケ(Lコード:22328)

※本展覧会の主催(秋田県立博物館)は、秋田県立博物館(秋田県立自然史博物館)です。
※本展覧会の協賛(秋田県立自然史博物館)は、秋田県立自然史博物館(秋田県立自然史博物館)です。
※本展覧会の協賛(秋田県立自然史博物館)は、秋田県立自然史博物館(秋田県立自然史博物館)です。
※本展覧会の協賛(秋田県立自然史博物館)は、秋田県立自然史博物館(秋田県立自然史博物館)です。

お問い合わせ

秋田テレビ事業戦略部
TEL 018-866-8030
(平日10:00～16:00)

秋田県立博物館
TEL 018-873-4121
(9:30～16:00 月曜休館)

AKT秋田テレビ
www.akt.co.jp

秋田県立博物館
www.akihaku.jp

■「教育あきた」は、県の教育関連施設や市町村の公民館、図書館等に設置しています。
また、県公式ウェブサイト「美の国あきたネット」からもご覧いただけます。

この印刷物は4,800部作成し、印刷経費は1部当たり20.00円です。



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

令和8年7月17日「教育あきた」No.763
発行・秋田県教育委員会
編集・秋田県教育庁総務課
〒010-8580 秋田市山王三丁目1-1
TEL.018-860-5112 FAX.018-860-5851
Eメール soumu-edu@pref.akita.lg.jp
https://www.pref.akita.lg.jp/pages/education